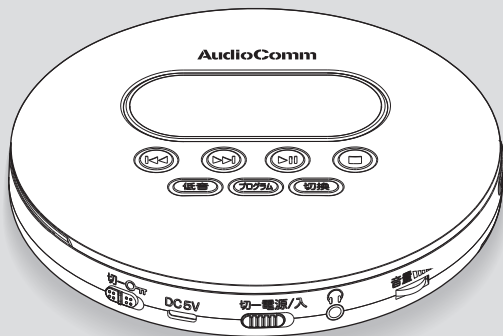


AudioComm®

ポータブルCDプレーヤー 取扱説明書

保証書付

型番：CDP-828Z
品番：03-5088



このたびは、AudioComm®ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(リ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ) 本書のご提示がない場合
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ) 一般家庭用以外(例、業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDプレーヤー		★お買い上げ日：	年	月	日
型番	CDP-828Z	品番	03-5088			
保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)						
お客様	ふりがな	様				
	★お名前					
お客様	★ご住所	〒	—			
	電話		()		
修理メモ						
★住所 店名 電話						
販売店						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がありますので、ご了承ください。



株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話 048-992-3970 平日9:00~17:00

電話受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
静電気に関するご注意	4
MP3ディスクの再生について	5
CDについて	6
各部の名称	7
乾電池の入れ方	8
ACアダプター(別売)で使うときは	8
電源のオン・オフについて	8
接続のしかた	9
イヤホンで聴くときは	9
アクティブスピーカー(別売)で聴くときは	9
再生方法	10~14
再生の基本操作	10~11
再生に関するボタン操作	11
低音強調機能	12
プログラム再生	12
再生モードの切り換えかた	13~14
ASP機能について	15
ホールドスイッチについて	15
レジューム機能について	15
お手入れのしかた	16
故障かなと思ったら	17
主な仕様	18
保証書とアフターサービスについて	18
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。




- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じた、あらゆる結果及び直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意




電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について




この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。





	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。




絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

 使用禁止	万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す。 家庭用電源で使用しているときはACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
	万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		 接続場所を選ぶ ACアダプターを使用するときは、すぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかにACアダプターをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。

警告	
 乾電池に注意	乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない ●感電の原因となります。
 水かけ禁止	本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因となります。
 禁止	運転中は本機を使用しない。また、それ以外でも、周囲の音が聴こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本機を使わない ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。

注意	
 乾電池を取り外す	長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
 掃除をする	ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまるると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
 極性に注意	乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

日本国以外では使用しない
●本機は日本国内専用です。

ピックアップレンズを覗き込まない
●レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどを本機にかけて覆わない
●火災の原因となります。

本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない

本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない
●火災・感電の原因となります。

本機やACアダプターの上に重い物を載せたり、ACアダプターのコードの上に本機を載せない
●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

注意



禁止

ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつかないように、ディスク・乾電池の出入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
●落下による故障やけがの原因となることがあります。

落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
●CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因となることがあります。



禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。

電磁波を発生させる機器(電子レンジ、携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

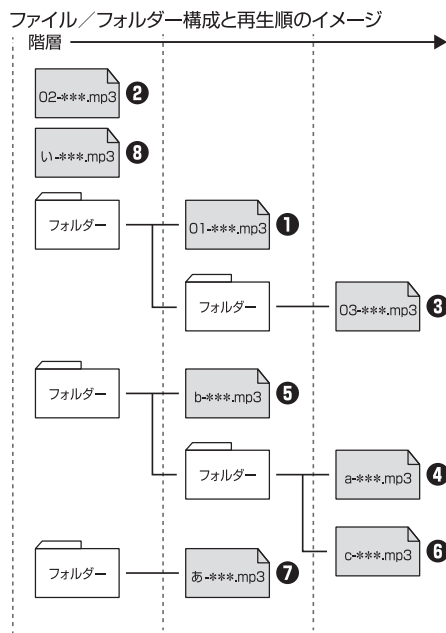
- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にびりびりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。



MP3ディスクの再生について

- ファイル数/フォルダー数
最大510ファイル/250フォルダー
(36階層まで確認済み)
- ファイル形式: MP3形式(拡張子「.mp3」)
再生ビットレート: 32~320kbps
※ディスク内に本機が対応していない形式のファイル(画像ファイル、テキストファイルなど)が混在していると、正しく認識されない場合があります。
※上記を満たす仕様及びファイル/フォルダー構成であっても、読み込めない、または再生できない場合があります。
- 再生順(右図参照)
・ファイル所在フォルダーと階層に関係なく、ファイル名の数字→アルファベット→仮名→漢字の順で再生されます。
※上記が基本ルールですが、ディスクへのコピー順などにより異なる場合があります。
※ファイル名が日本語の場合、正しく認識されない場合があります。
※ライティングソフトウェアによっては、編集方法などにより、再生順が異なる場合があります。



CDについて

CD規格の注意事項

- ディスクに  のマークが入ったものをご使用ください。
- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。
 コピーコントロールCDのマーク
- 本機はCD-DA(音楽CD)及びMP3ディスク(MP3ファイルを取録したCD-R/CD-RW、最大250フォルダー)の再生に対応していますが、以下の点にご注意ください。
・ディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・MP3ディスクで読み込み可能なのは、最大250フォルダーまでですが、それ以下の場合でも階層が複雑な場合は、読み込みに時間がかかる、または読み込めない場合があります。

結露について

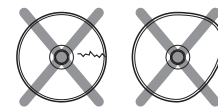
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

DualDiscについてのご注意

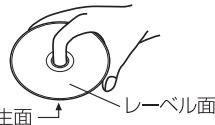

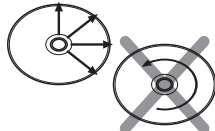
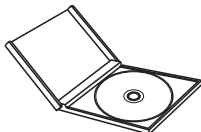
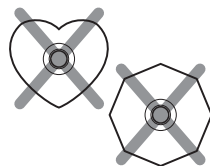
DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

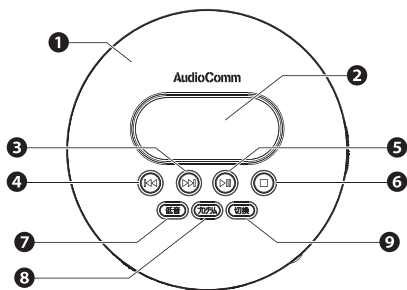


ディスク取扱上の注意点

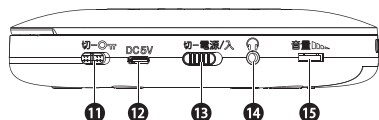
- ◆再生面に触れないように持ってください。
 再生面 → レーベル面
- ◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

- ◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。

- ◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。


各部の名称

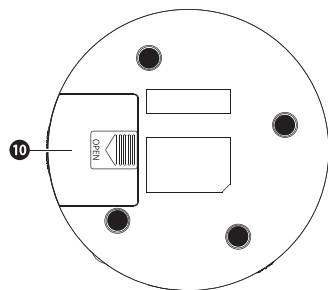
上面



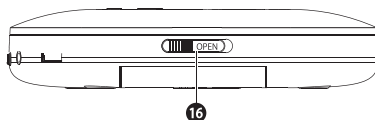
前面



底面

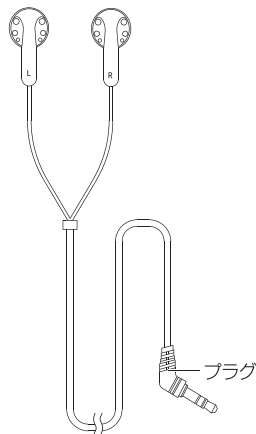


右側面

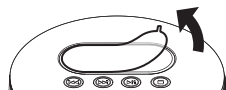


- 1 CDドア
- 2 ディスプレイ
- 3 スキップボタン(▶▶)
- 4 スキップボタン(◀◀)
- 5 再生/一時停止ボタン
- 6 停止ボタン
- 7 低音ボタン
- 8 プログラムボタン
- 9 切換ボタン
- 10 電池ボックスカバー
- 11 ホールドスイッチ
- 12 ACアダプター端子(USB Type-C)
- 13 電源スイッチ
- 14 ヘッドホン端子
- 15 音量ダイヤル
- 16 CDドア開スイッチ

ステレオイヤホン



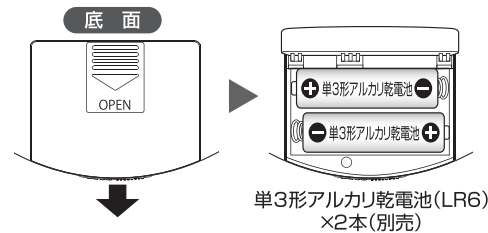
- ご購入の際、ディスプレイに保護シールが付いている場合、はがしてからお使いください。



乾電池の入れかた

乾電池で使うときは…

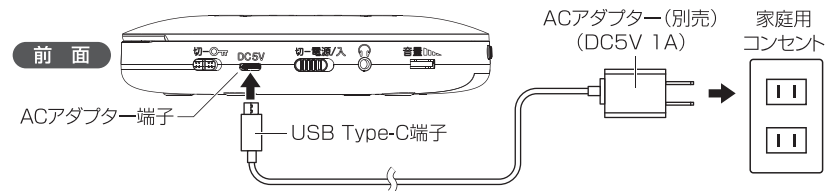
- 1 電池ボックスカバーの▼部を押しながら矢印の方向にスライドさせて開けます。
- 2 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本(別売)を本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(コイルはねのあるほうが⊖です)。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。



- 充電電池は定格電圧が低いため、使用時間が短くなったり、正常に動作しない場合があります。アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の残量が少なくなると、ディスプレイに電池マーク(🔋)が点滅しますので、早めに新しい乾電池と交換してください。

ACアダプター(別売)で使うときは

- ACアダプター(別売)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
- ACアダプター(別売)を使うと自動的に電源がACアダプターに切り替わります。



- 重要** ●ACアダプターを家庭用コンセントから抜くときは、必ず本体部を持って行ってください。
- ACアダプターを使用する際には、差し込まれたACアダプターのプラグに応力が加からないように注意してください。故障や破損の原因になります。

電源のオン・オフについて

電源 オン…電源スイッチを右にスライドすると、電源が入ります。

(CDが正しく装着されているときは、読み込み動作の後、自動的に再生が始まります)

スタンバイ…停止ボタンを2回押しとスタンバイ状態になります。(ディスプレイ表示はありません)

オートオフ機能…停止状態が約30秒間続くと、節電のため自動的にスタンバイ状態になります。

(ディスプレイ表示はありません)

電源 オフ…電源スイッチを左にスライドすると、電源が切れます。

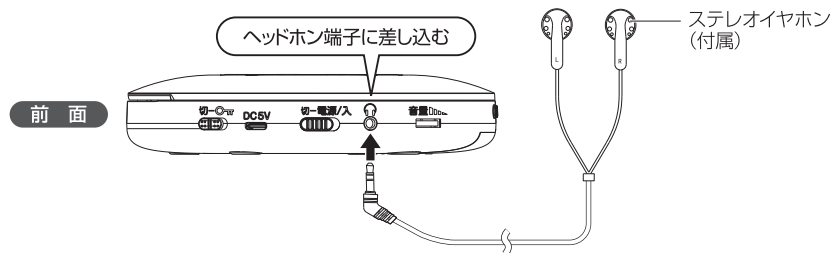
接続のしかた

重要

- 接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。
- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行ってください。断線や破損のおそれがあります。

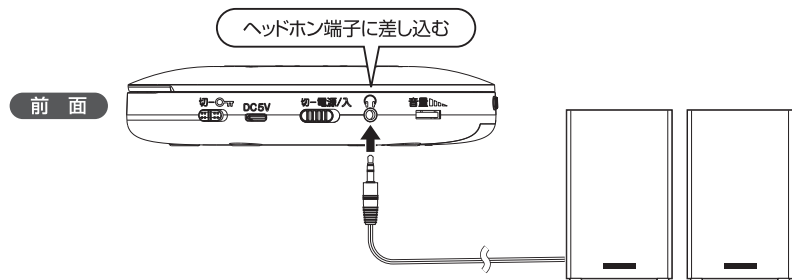
イヤホンで聴くときは

ステレオイヤホン(付属)のφ3.5mmステレオミニプラグを本機のヘッドホン端子に差し込みます。



アクティブスピーカー(別売)で聴くときは

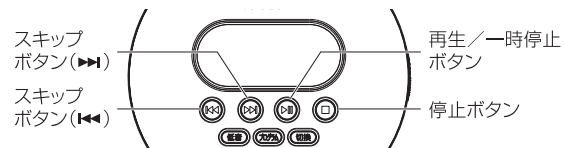
スピーカーコードのφ3.5mmステレオミニプラグを本機のヘッドホン端子に差し込みます。



再生方法

再生の基本操作

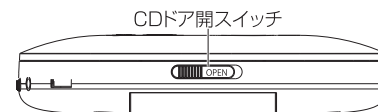
上面



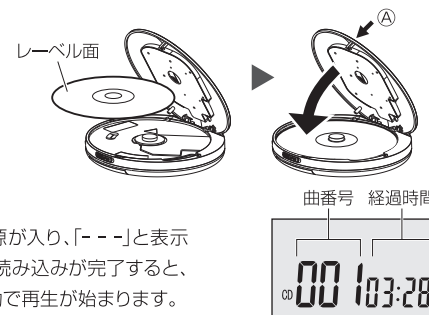
前面



右側面



- 1 CDDア開スイッチをOPENの方向にスライドさせて、CDDアを開けます。
- 2 ディスクのレーベル面(印刷してある面)を上にして正しくセットした後、Aの箇所を指先で押して閉めます。
- 3 電源スイッチを右にスライドさせると電源が入り、「---」と表示されてディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、総曲数と総収録時間が表示された後、自動で再生が始まります。



- 読み込みには時間がかかることがあります。
- ディスクが入っていない場合や、汚れや破損、入れ間違い(表裏逆に装着)などにより、読み込みが完了できない場合は「NOcd」または「NOd」、「NOFile」と表示されます。
- 本機の規格に適合しないディスク(MP3以外の圧縮ファイルが記録されたディスクなど)の場合、読み取りから再生動作が始まり、ディスプレイにも経過時間が表示されますが、音は出ません。

- 4 音量ダイヤルで音量を調節します。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
- 5 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止します(■)が表示され経過時間が点滅します。もう一度押すと再生を再開します。
- 6 再生を止めるには、停止ボタンを押します。
 - 停止状態では、総曲数と総収録時間が表示されます。



再生方法(つづき)

- 7 もう一度停止ボタンを押すと、ディスプレイ表示が消え、スタンバイ状態になります。または、停止状態が約30秒続いた場合も、自動的にスタンバイ状態になります。



- CD-DA(一般的な音楽CD)の表示例
一時的に総曲数と総収録時間が表示された後、再生が始まります。再生中は曲番号と経過時間が表示されます。



- MP3ディスクの表示例
一時的に総ファイル数(総曲数)が表示された後、再生が始まります。再生中はファイル番号(曲番号)、経過時間が表示されます。



- ディスクを取り出す際は、回転しているディスクを押さえて無理に停止させないでください。ディスク面に傷が付いたり、本機が故障する場合があります。
- ディスクを取り出すときは、回転が完全に止まってから、回転軸部を上から指で軽く押さえながら、取り外してください。
- 使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。

再生に関するボタン操作

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	長押しする
スキップボタン (◀◀)	一つ前の曲を選択	一つ前の曲に移動して再生	再生中に聴いている曲を早戻しします。指を離れた時点から再生を再開します。
スキップボタン (▶▶)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	再生中に聴いている曲を早送りします。指を離れた時点から再生を再開します。
再生/一時停止ボタン	再生	一時停止	—
停止ボタン	スタンバイ	再生を停止	—

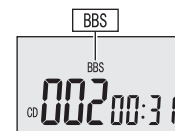
- 早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

低音強調機能



低音ボタンを押すと、低音が強調された音楽を楽しむことができます。

- 低音強調機能が有効なときは「BBS」が表示されます。
- 解除するときには、低音ボタンを押してください。
- 低音が強調されすぎるときは、使用を控えてください。

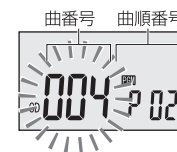
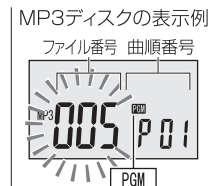
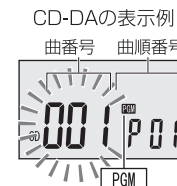


プログラム再生

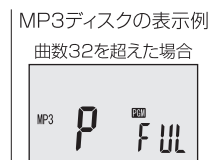
本機では最大32曲までお好きな順番で曲を再生することができます。

プログラム登録と再生方法

- 1 停止中にプログラムボタンを押します。
 - ディスプレイに「PGM」マークと「P01」(曲順番号)、「001」(曲(MP3はファイル)番号)が表示され、点滅します。
- 2 スキップボタン(◀◀/▶▶)で最初に登録したい曲(MP3はファイル)番号を選び、プログラムボタンを押します。
 - プログラムボタンを押すと「P02」が表示され、曲(MP3はファイル)番号が点滅します(ステップ2で選んだ曲(MP3はファイル)番号が表示されます)。
- 3 ステップ2を繰り返し、2番目以降の曲を登録していきます。
- 4 再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
 - プログラム再生中は「PGM」マークが表示されます。



- 登録中、約30秒間何も操作しない場合、登録が解除されます。
- 32曲設定後、トラックを選んでプログラムボタンを押すと「P FUL」が表示されます。
- プログラム内容を破棄するには、停止ボタンを押すか、電源を切るか、またはCDドアを開けてください。



再生方法(つづき)

再生モードの切り換えかた

切換

切換ボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。
下記のうちフォルダーリピートは、MP3ディスク再生時のみ表示されます。

1曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生

- 1曲リピート中はディスプレイに「REP1」が表示されます。
- 曲を選んで繰り返し聴くには、再生中も使えますが一時停止中または停止中にスキップボタン(◀◀ / ▶▶)で曲番号を選び、再生/一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



フォルダーリピート

フォルダー内の曲を繰り返し再生
※MP3ディスクのみ

- フォルダーリピート中はディスプレイに「DIR」が表示されます。



全曲リピート

ディスク内の全曲を繰り返し再生

- 全曲リピート中はディスプレイに「ALL」が表示されます。
- 再生中に全曲リピートを選んだ場合は、そのまま全曲を繰り返し再生します。
- 一時停止中または停止中に全曲リピートを選んだ場合は、再生/一時停止ボタンを押して再生を始めてください。



シャッフル再生

ディスク内の曲をランダムに再生

- シャッフル再生中はディスプレイに「SHUF」が表示されます。
- 再生中にシャッフル再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からシャッフル再生が始まります。

CD-DAの表示例



MP3ディスクの表示例



シャッフル再生(つづき)

- 一時停止中または停止中にシャッフル再生を選んだ場合は、再生/一時停止ボタンを押して再生を始めてください。一時停止中の場合は再生再開時にランダムに選ばれた次の曲から再生が始まります。



イントロ再生

ディスク内の1曲目から頭出しの10秒を順に再生

- イントロ再生中はディスプレイに「INTRO」が表示されます。
- 再生中にイントロ再生を選んだ場合は、聴いている曲は10秒未満の場合は10秒まで再生し、10秒を超えていた場合は約3秒で停止し、次の曲からイントロ再生が始まります。
- 停止中にイントロ再生を選んだ場合は、再生/一時停止ボタンを押すとイントロ再生が始まります。



解除

通常の再生に戻る

- 1曲リピート、フォルダーリピート、全曲リピート、シャッフル再生、イントロ再生を解除するには、ディスプレイの各マークが消えるまで切換ボタンを数回押ししてください。
- 停止ボタンを押した場合も設定が解除されます。

CD-DAの表示例



MP3ディスクの表示例

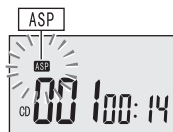


ASP機能について

本機にはASP(Anti-skip Protection)機能が内蔵されており、自動的に音飛びを防ぎます。

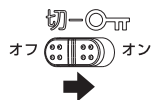
ディスプレイに「ASP」が点滅し(蓄積中)、十分に蓄積されると点滅が止まります。

ASP機能を解除することはできません。



- 再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
- 長時間振動が続いた場合(歩行中や動いている車内など)、一時的に音が途切れることがあります。

ホールドスイッチについて



前面のホールドスイッチを「オン」にすると、ボタン操作が無効になります。かばんに入れているときなどの誤操作を防ぐことができます。

- ホールド機能が「オン」のときに任意のボタンを押すと、一時的に「HOLD」が表示されます。
- ホールド機能が「オン」のときでも、音量ダイヤルは操作可能です。
- ホールド機能を解除するときは、ホールドスイッチを「オフ」にしてください。



レジューム機能について

最後に再生した位置を記憶するCDの機能です。本機の電源を切っても、CDを誤って取り出してしまった場合でも、CDをセットし直すと、取り出したときに再生していた位置から再生を再開することができます。別のCDを再生したりすると、再開情報は失われます。

●レジューム機能のオン・オフのしかた

再生中や停止中でプログラムボタンを3秒押すと、ディスプレイに「OFF」と表示され、レジューム機能が解除されます。また、プログラムボタンを3秒押すと、ディスプレイに「ON」と表示され、レジューム機能が設定されます。



- 通常再生中に停止ボタンを押して、再生ボタンを押すとレジューム機能が解除され、「00」から再生することになります。

お手入れのしかた

●キャビネットのお手入れ

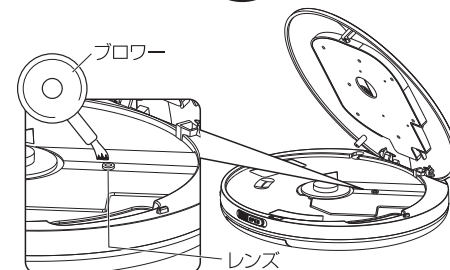
キャビネットの汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を湿らせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●レンズ部のクリーニング

クリーニングの前に必ず電源を切ってください。レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。レンズ部にゴミやほこりがついた場合は、市販のプロワーでレンズを2~3回吹き、プロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、プロワーでレンズを吹いてください。



故障かなと思ったら

●全般

電源が入らない	●乾電池が入っていますか。 ●乾電池の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●ACアダプター使用時：ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか。 ●本機の規格に合わないディスクが入っていませんか。 ●ディスクが裏返しに入っていませんか。 ●レンズがひどく汚れていませんか。 ●一時停止状態になっていませんか。 ●結露していませんか。
CD-R / RWの再生ができない	●収録した曲は本機の規格に合ったファイル形式ですか。 ●正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか。 ●音量が最小になっていませんか。
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか。 ●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか。 ●強い衝撃や振動が続く場所で再生していませんか。
ボタン操作ができない	●ホールドスイッチが「オン」になっていませんか。
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか。

●イヤホン接続時

音が出ない・音が歪む	●イヤホンのプラグがヘッドホン端子に接続されていますか。 ●プラグがしっかりと差し込まれていますか(ゆるんでいませんか)。
------------	--

●外部アクティブスピーカー接続時

音が出ない・音が歪む	●外部アクティブスピーカーの電源は入っていますか。 ●プラグがしっかりと差し込まれていますか(ゆるんでいませんか)。 ●外部アクティブスピーカー側の音量設定が消音になっていませんか。
------------	---

主な仕様

電源	DC3V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本(別売)
外部電源	DC5V 1A、USB給電：USB Type-C端子(ACアダプター別売)
音声出力端子	ヘッドホン出力(φ3.5mmステレオミニジャック)
出力レベル	実用最大出力レベル 15mW+15mW(32Ω)
対応フォーマット	CD-DA、MP3 (CD、CD-R、CD-RWディスク対応)
使用時間の目安	新品アルカリ乾電池使用時：CDの場合は約8時間、MP3の場合は約13時間(中程度の音量にて使用時の目安です。使用状況により異なります。)
外形寸法	(約)幅141×高さ31×奥行141mm(突起物を含まず)
質量	約215g(乾電池・付属品を含まず)
付属品	ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。